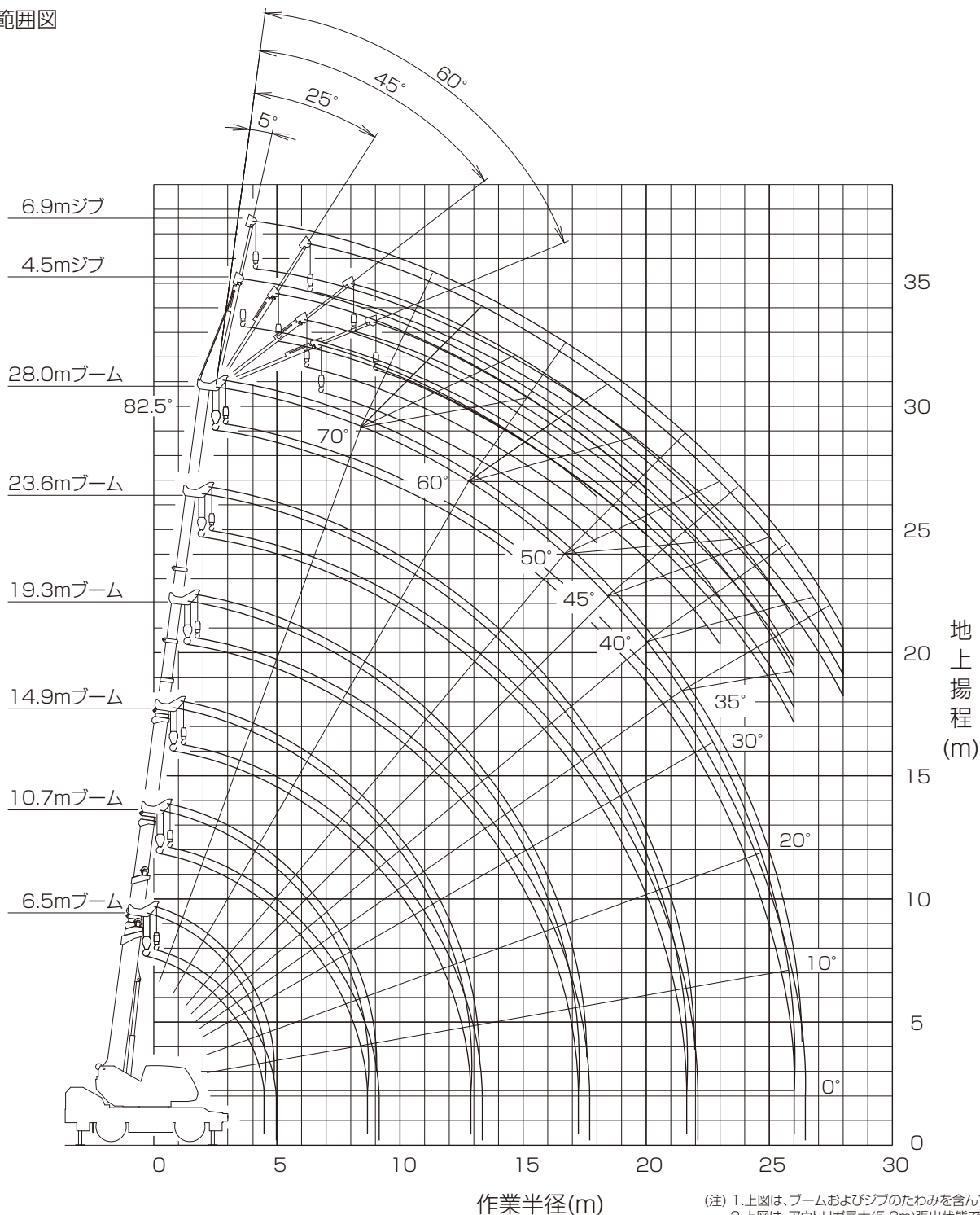


■作業範囲図



(注) 1. 上図は、ブームおよびジブのたわみを含んでいません。  
2. 上図は、アウトリガ最大(5.2m)張出状態での図です。

■定格総荷重表注意事項 【アウトリガ使用時】

1. 定格総荷重は、水平堅土上においてクレーンを水平に設置した状態での値で、ブーム作業時はつり具と主巻フック質量(140kg)を、ジブ作業時はつり具と補巻フック質量(50kg)を含んだ値です。  
太線より上はクレーンの強度によって定められ、下はクレーンの安定度によって定められています。
2. 作業半径は、ブームおよびジブのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、作業時は必ず作業半径を基準にしてください。
3. シングルトップ使用時のワイヤロープ巻掛本数は1本です。  
シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重より90kgを差し引いた値とし、つり具と補巻フック質量(50kg)を含んだ値で、かつ限度は3.2tです。
4. 高速巻き下げはフックのみを降下するときに使用してください。また、急激なレバー操作は避けてください。
5. 各ブーム長さにおける標準フックとワイヤロープ標準巻掛本数はブームの各定格総荷重表中に記載しています。  
ただし、この掛数以外で使用する場合は、ロープ1本当り主巻2.9t以下、補巻3.2t以下としてください。
6. ジブにおけるワイヤロープ巻掛本数は1本です。
7. 側方域でのつり上げ性能は、アウトリガ張出幅によって異なります。張出幅に応じた性能で作業をしてください。  
また、前方・後方域でのつり上げ性能は「アウトリガ最大張出」の定格総荷重ですが、アウトリガ張出幅によってその前方・後方域の範囲(角度a)が異なります。

H型	張出幅	中間張出 (4.8m)	中間張出 (4.4m)	中間張出 (3.2m)	最小張出 (1.79m)
角度 a°		45	40	20	5

